

古事記研究叢書



1960年までに上梓された古事記の研究書を集成。
全六巻 ● 三浦 佑之 編・解説

クレス出版

刊行のことば

三浦 佑之

古事記「序」はいささか怪しげで疑わしいと公言している私のところにも、いくつかの依頼が舞い込むのを見ると、編纂一三〇〇年の節目を来年に控えて、古事記はずいぶん注目されているらしい。一〇年ほど前にはじまった古事記ブームは今も下火にはならず、書店に行くと、古事記に関連するさまざまな書籍が並んでいる。偏光レンズを通さずに、きちんと古事記が読めるのはいいことだ。

しかし一方で、昔出た本を読みたいと思っても、ほしい本はなかなか手に入らない。インターネットで古書を購入したり、図書館の検索を利用して本を探したりできるようなって便利にはなったが、体系的に古書を揃えるのは簡単ではない。そうした困難さを少しでも解消し、次代の古事記研究を支えたいという願いから本書は企画された。

絶版になって久しく、復刊されたこともないために、図書館でもなかなか見つからないという本を集めた。収録したのは、一部を除いて、一九二〇年代から一九六〇年までの、およそ四〇年の間に上梓された古事記の研究書である。他の叢書や個人の全集・著作集に収められていない作品を選んでいるので、書名だけは知っているが手に取ったことはないという書物も多いはずだ。しかも、収載した四〇年間に、一九四五年という古事記研究にとってきわめて大きな節目を挟んでおり、その前と後とでは研究の性格や内容はずいぶん変容した。本書は、そうした古事記研究史の流れが見わたせるという点でも興味深いのではないかと思う。

たとえば、第四巻に西郷信綱『古事記』を収めたが、この本は純日本古典読本というシリーズの一冊として一九四六年に刊行された。暗黒イメージを払拭して再生しようとする古事記研究を象徴する記念碑的な一冊でありながら、手にしたことがあるという人はごく少数ではないかと思う。私がそうだったのだが、この小さな本を読んで大いに驚いてほしい。

忘れられ古びてしまったようにみえる本にも、現代のわれわれが教えを受けることは多いはずだ。ここに並べた本を手がかり足がかりとして、次の時代を切り拓いてくれる若い研究者の出現を願っている。

第一巻 古事記学抄

一

天地初發之時、於高天原成神名、天之御中主神訓高下天云、阿麻下效此、次高御産巢日神、次神産巢日神、此三柱神者、並獨神成坐而、隱身也。

これは言ふまでもなく古事記の冒頭の言葉である。ここでは特に「初發」の訓み方について考へ、同時に近來再び諸種の思想がその訓み方及び意義に絡みついて來て、甚しく紛濫をさへ來してゐるのを見、この時に當つて此の言葉と意とを正さなければ、たゞに誤讀誤解たるにとゞまらず、まことに重大な事實を生ずることになるので、先づ小見を述べて再び諸學者の高示を得て、わが皇國の古傳の大道を顯し、且つは古事記撰進（一三七二年正月）より滿一二三一年の正月を迎ふる詞ともしたく思ふのである。

さて「初發」の語を考へるについては、先づ考へておかなければならないことは、勿論單純にこれを記してある漢字音のまゝに讀んだり、漢字の語義をそのまゝ當てはめて済ますことはできない、即ちこの文字面から直ちに稗田阿禮の誦習した原の古語ふることが得られ難いといふことである。

一、「天地初發之時」について 九

第四巻 古事記

第二章 古事記の本質

一

古事記のつくられた目的、並にその本質を規定したところのものが、大化改新直後に成立した天皇制の性格そのものであつたことを、まず第一に知つておく必要がある。終戦後、せきをきつたかのように夥しく發表された天皇制に関する論文に接し、讀者はすでにその大體の輪廓だけは御存じのことと思ふが、實は古事記の本質を見きわめようとすること、これをひるがえせば、天皇制のいづれに大切な第一章を研究することと分ちがたく結びついているのである。しかもこれは、そう無闇とやさしい事業ではない。我々が感傷的な生々しさを以て經驗した明治以後の天皇制については、日本資本主義分析の一環として、かなり明細な分析がゆきとどいてきた觀があるけれども、それ以前のことどもは、むしろこれからの研究に多くをまたれている。私もいま、暗中をさぐるような思いでこの筆をとつているのを告白する。

超國家主義の思考においては、周知のように天皇制は、どこまでも永遠不變で、あらゆる歴史をこえた存在であると説かれたが、それがそうでなかつたことは、今日の現實が容赦なく證明している通

古事記研究叢書 全六巻構成

第一巻 成立論と諸本解題

- 古事記序文講義
- 山田孝雄述／志波彦神社鹽竈神社編／昭和10年
- 古事記諸本解題
- 山田孝雄校閲／志波彦神社鹽竈神社編／昭和15年
- 古事記学抄
- 蓮田善明著／子文書房／昭和18年

第二巻 序と本文をめぐる偽書論

- 古事記論
- 中澤見明著／雄山閣／昭和4年
- 古事記上表文の研究
- 藤井信男著／明世堂書店／昭和18年
- 上代日本文学論集 基礎的研究篇
- 後 勲著／民間大学刊行会／昭和30年

第三巻 戦意高揚と古事記

- 古事記と建国の精神
- 植木直一郎著／日本文化協会出版部／昭和12年
- 神々の夜明 古事記の地上展開
- 太田水穂著／人文書院／昭和15年
- 原始国文学考
- 徳田浄著／目黒書店／昭和5年

第四巻 古事記研究を拓く

- 古事記（純日本古典読本）
- 西郷信綱著／日本評論社／昭和22年
- 古事記の新研究（国文学研究叢書）
- 倉野憲司著／至文堂／昭和2年

第五巻 民俗学的研究

- 古事記の民俗学的研究
- 竹野長次著／文雅堂書店／昭和35年

第六巻 古事記への眼差し

- 古事記神名略解
- 加藤高文著／青山清吉／明治29年
- 古事記に於ける特殊なる訓法の研究
- 三矢重松著／文学社／大正14年
- 琉球人の見た古事記と萬葉
- 奥里将建著／青山書店／大正15年
- 科学より觀たる古事記
- 浅野正恭著／嵩山房／昭和3年
- 日本昔噺（「八頭の大蛇」、「鬼と鰐」）
- 巖谷小波編／博文館／明治28年

古事記研究叢書 全六巻

三浦 佑之 編・解説

第一巻	成立論と諸本解題	定価15,000円(税別)	ISBN978-4-87733-616-5
第二巻	序と本文をめぐる偽書論	定価17,000円(税別)	ISBN978-4-87733-617-2
第三巻	戦意高揚と古事記	定価17,000円(税別)	ISBN978-4-87733-618-9
第四巻	古事記研究を拓く	定価18,000円(税別)	ISBN978-4-87733-619-6
第五巻	民俗学的研究	定価12,000円(税別)	ISBN978-4-87733-620-2
第六巻	古事記への眼差し	定価16,000円(税別)	ISBN978-4-87733-621-9

A5判/上製函入/クロス装 平成23年11月末日刊行
揃定価95,000円(税別) ISBN978-4-87733-622-6(セット) C3393

● クレス出版好評既刊書 ●

萬葉集歌人研究叢書

全10巻/青木周平・谷口雅博・城崎陽子・倉住薫編・解説
万葉集は研究者のみが必要とする作品でなく、歌をつくる人や一般愛好者にも広く親しまれている、日本を代表する歌集である。本叢書には入門的性格を持つ書も含めて、今となっては手に入りにくい名著の数々を収録し、さらなる研究の深まりを期待する。
A5判/揃定価本体64,000円 ISBN4-87733-207-3(セット)

百人一首研究資料集

全六巻/吉海直人編・解説
古くから日本人に親しまれている「百人一首」の総合研究に必要な不可欠な資料を集成。『百人一首』本文や論文・注釈書に限らず、そこから再生された書道手本・異種百人一首・競技かるた・英訳などにまで拡大した、和歌文学を超えた日本文化研究の座右の書。
A5判/揃定価本体44,000円 ISBN4-87733-205-7(セット)

西行研究資料集成

全10巻/西澤美仁監修・解説
生活体験のにじみ出た述懐歌にすぐれた歌僧西行についての、近代における伝記、和歌の代表的研究書を復刻。『増補 山家集抄』のほか梅沢和軒による『山家集詳解』や『西行法師伝』、尾崎・尾山・窪田の評釈や尾山・川田・風巻による評伝などを収録。
A5判/揃定価本体94,000円 ISBN4-87733-159-X(セット)

類題和歌 鮎玉・鴨川集

全六巻/中澤伸弘・宮崎和廣編・解説
加納詔平編『類題鮎玉集』と、長澤伴雄編『類題和歌鴨川集』の二歌集を影印で刊行。当時の歌人に多大な影響を与え、その詠歌の傾向や、歌人国学者の動向を見るにも有益。近世後期の和歌や幕末の歌壇、人物、国学の研究に欠く事のできぬものである。
A5判/揃定価本体95,000円 ISBN4-87733-322-3(セット)

近世和歌研究書要集

全八巻/中澤伸弘・宮崎和廣編・鈴木亮編・解説
近世和歌研究の為の基本的な書物で今日容易に手に入れ難いもののいくつかを集めて、詠風や人物、歌書等に至る研究の資料とする。福井久蔵や森敬三の著作のほか、熊谷武至の私家版稀観本、光葉会(昭和女子大学)の「文学遺跡巡礼」などを収録。
A5判/揃定価本体95,000円 ISBN4-87733-301-0(セット)

国学和学研究資料集成

全八巻/中澤伸弘・鈴木亮編・解説
国学及び和学(神道の思想をはじめ日本文学、歴史学、言語、法制、有職故実など)に関する文献の中で今日なおその資料価値の高いもの、また稀観の部類に属するものを選ぶ。真の日本文化を究め、日本人固有の心情を捉えようとした先学の偉業を回顧する。
A5判/揃定価本体95,000円 978-4-87733-430-7(セット)

好古研究資料集成

全九巻/中澤伸弘・宮崎和廣編・解説
「好古」と呼ばれる学風とは有職故実、考古学、風俗史学、絵画史などその周縁の多様な学問の総合である。国学者・和学者の古典図録の魁をなす珍しい書物を取め、伊勢貞丈、栗原信充、また明治の考証学者黒川真頼の著作も収める。
A5判/揃定価本体95,000円 ISBN978-4-87733-607-3(セット)

福井久蔵和歌連歌著作選

全6巻/廣木一人編・解説
古代から明治初頭までの和歌関係書を分類の上、解説・書誌情報を加えた『大日本歌書総覧』、連歌史および連歌関係事項を考察、連歌関係書の解説・書誌情報を記した『連歌の史的研究』、また連歌作品十点の紹介、注釈書『連歌文学の研究』を収録。
A5判/揃定価本体84,000円 ISBN978-4-87733-574-8(セット)

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町14-5 メローナ日本橋
☎03-3808-1821 ☎03-3808-1822 <http://www.kress-jp.com/>

●書店名